

TOSHIBA

シェアレポ

導入事例 Vol.4

Sharepo™



報告書の作成時間を約6割削減 緊急・災害時も迅速な対応を実現

三井不動産商業マネジメント株式会社 施設管理本部 藤田様 柳原様

導入企業プロフィール **三井不動産商業マネジメント株式会社様** <https://www.mf-shogyo.co.jp/>

三井不動産グループ商業施設事業のバリューチェーン中核会社として、三井不動産の担う投資・リニューアル・テナント入れ替えなどの運用業務と密接に連携し、開業準備業務および開業後の運営管理業務に取り組んでいます。

本社所在地／東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 (浜町センタービル) 設立／1970年1月13日 資本金／450百万円

従来からの課題

- 課題1 もっと素早く正確に検査結果を報告したい
- 課題2 緊急時の現場の進捗状況を本部に迅速に伝えたい
- 課題3 店舗側の担当者にその場で過去の対応経緯を共有したい

導入の効果

- 効果1 タブレット活用で検査結果の記入・報告時間が短縮
- 効果2 シェアレポ上で本部の作業指示や現場の連絡が可能
- 効果3 タブレットで過去の指摘事項や対応経緯の閲覧・共有を実現

1 導入のきっかけ

最大の魅力は既存の帳票をそのまま利用できること

点検箇所の写真は枚数も多く、パソコンへの取り込み作業、写真と検査箇所の照合、報告内容の入力など、多くの作業時間と負荷がかかっていました。シェアレポなら、その場で帳票作成から報告まで行えます。担当者の負荷を軽減し、作業時間の短縮と業務効率化を実現できると思いました。導入にあたり、新たな帳票に作り直すのではなく、既存帳票のフォーマットをそのまま利用できることが最大の魅力でした。また、現場からの報告だけでなく、本部からの作業指示もシェアレポで行え、連携がスムーズに行えるのも魅力でした。

2 シェアレポを活用した業務①

過去の検査記録をその場で照合 異常値はすぐに気づいて対処

施設管理本部では、おもに各施設の建物管理・管理工事などを担当します。検査のたびに図面や検査記録表を印刷して記入していましたが、シェアレポ導入後は、タブレット上に図面を表示してその場で記入・報告まで行えるので作業時間が短縮しました。

さらに、クラウド上に格納されている過去のデータと照合し、異常値があればその場で気づけます。事務所に戻ってから異常に気づいてまた現場に戻るという、後戻り作業の負担が軽減しました。また、本部の作業指示や現場の連絡もシェアレポ上でスムーズに連携できるので、緊急時や風水害などの自然災害発生時の対応スピードが格段に上がりました。

3 シェアレポを活用した業務②

対応履歴の共有で店舗ご担当者様とのコミュニケーションがより円滑に

オペレーションセンターでは、おもに各施設の店舗の運営管理を担当します。防火パトロールでは、施設や店舗内で適切な防火防災対策が行われているか安全な環境維持のための点検を実施しています。

シェアレポ導入後は、タブレットを持って店舗に行き、確認事項を見ながら現場をチェック、指摘箇所はその場で写真を撮って報告できるようになりました。店舗側のご担当者さまが交代された場合でも、前回の指摘事項や対応の経緯などをその場で共有できるので、コミュニケーションがより円滑に進むようになりました。

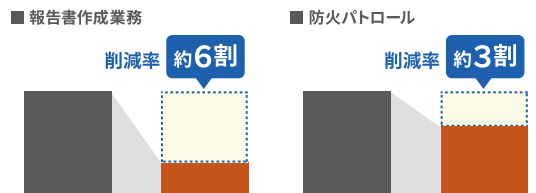
4 導入効果

作業負荷の軽減と作業時間の大幅な短縮を実現

工事完了検査では、報告書作成時間を約 6 割削減できました。工事検査表は複数の担当者が使用します。クラウド上で過去の報告内容や工事検査履歴を検索できるのは非常に便利です。誰が見てもわかる電子データであることは、とても重要だと実感しました。

防火パトロールでは、1 店舗あたりにかかっていた入力作業時間を約 3 割削減できました。そのおかげで、より多くの時間を店舗の支援業務に充てることができています。

※三井不動産商業マネジメント株式会社の実績値であり、削減率を保証するものではありません。



5 今後の展望

未来の安全・安心に向けて BCP対策に活用

シェアレポの導入効果は充分感じていますので、社内での利活用をさらに進めていき、さらなる業務効率化を目指します。また、シェアレポに蓄積されたデータを分析することで、繰り返し起こる修繕箇所の根本的な原因究明や予防保全につなげることができます。今後は、蓄積されたデータを利活用して、風水害時のより迅速なオペレーションの実現や広域災害が発生した際の BCP 対策の取り組みに活用していきたいと思っています。お客様やご出店者さまが安全・安心・快適に施設をご利用いただけるよう、未来の安全・安心に向けた取り組みに活かしていきたいです。

東芝のシェアレポは、タブレットや当社独自のICT技術を活用することで、点検・検針作業のデジタル化を実現します。現場作業員の負担や検針時の入力ミス、トラブル対応などを低減します。また、蓄積されたデータは、お客様の企業競争力の強化に寄与します。

詳細情報は [Sharepo ホームページへ](https://www.toshiba.co.jp/infrastructure/building-dx/solution-product/sharepo/index_j.htm) https://www.toshiba.co.jp/infrastructure/building-dx/solution-product/sharepo/index_j.htm



・本サービスは、一定の作業効率化等の達成を保証するものではありません。
 ・本資料の掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更されることがあります。
 ・本資料に掲載している技術情報は、製品およびサービスの代表的動作・応用を説明するためのもので、その使用に際して当社および第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
 ・お客様の組織名、役職はインタビュー当時のものです。

・本資料に掲載されている製品およびサービスを、国内外の法令、規則および命令により製造、販売を禁止されている応用製品に使用することはできません。
 ・本資料に掲載されている製品およびサービスの使用または、使用不能により生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない)に関して当社は一切の責任を負いかねます。

東芝インフラシステムズ株式会社

事業開発センター ビルDX推進部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34(ラゾーナ川崎東芝ビル) Tel 044-331-0706

本資料の内容は、2021年2月現在のものです。

2021-2(0)